

市民の皆様からいただいた「市長への手紙」に対する、回答の内容をまとめました。

対象となった市長への手紙 : 11件(ただし、匿名等で回答していない市長への手紙は除く。)
 うち回答済みの件数 : 11件
 うち回答作成中の件数 : 0件
 対象とならなかった市長への手紙 : 26件(匿名、回答不要、市政に直接関係のない内容のもの。)

回答したもの(受付年月 令和元年7月分)

対応状況凡例 : =手紙の内容に応じて対応済
 =手紙の内容を検討中
 ×=手紙の内容に対応できない

NO.	種別	件名	要旨	対応		所管課
				内容	状況	
1	メール	市議会本会議に市側の帯シャツ着用を導入する	<p>令和元年6月市議会定例会最終日は、蒸し暑い環境の中、議員は上着無しで出席しているのに対し、市(執行部)側は大部分の方がスーツ姿でした。当然のことですが、エアコンを入れて温度調節が行われていたと思います。</p> <p>議場放映が行われている状況で、議員側が上着無し、市側がスーツ姿と違和感のある光景が傍聴席から見受けられました。</p> <p>2018年1月「地球温暖化防止」をテーマに、島田市ふるさと大使の俳優別所哲也氏と染谷絹代市長による「クールチョイス対談」が行われ、取り組みが披露されました。</p> <p>省エネの取組のひとつとして、PRを含めた帯シャツの導入も行われているが、市役所庁舎内での着用が広がっていないのが現状である。</p> <p>島田市は「地球温暖化防止」に積極的に取り組んでいるという姿を庁舎内外に示すため、議会での帯シャツ着用を取り入れ、積極的に節電を行うよう提案します。</p>	<p>様からいただいた「市議会本会議に市側の帯シャツ着用を導入する」提言につきましては、議会の品位を重視しつつ、必要に応じた検討が行われるものと思慮いたします。</p> <p>また、御指摘のあった議会への出席の際の服装につきましては、出席する説明員が、議員の服装にかかわらず、議会に敬意を表し、かつ真摯な議会对応を行う上で、適切な服装により対応しているものであります。</p> <p>なお、地球温暖化防止及び「島田帯シャツ」の活用につきましては、引き続き、取り組んでまいります。</p>	×	行政総務課 36-7132
2	手紙	島田球場拡張について	<p>染谷市長 お忙しい中すみません。先日、静岡新聞(7/4付)島田を野球で活性化しようと第三セクター「まちづくり島田」と島田掛川信用金庫、島田市野球連盟などがタッグを組み、日本プロ野球OBクラブと連携したプロジェクトに乗り出したことが出ていました。市長は島田を元気に活性化ある町にと、かなり努力しています(蓬莱橋、川越え、リバティ大井川マラソン、その他)。</p> <p>ひとつ遅れているのが島田球場です。島田は戦前</p>	<p>島田球場は、島田市野球連盟や中学・高校野球の大会等で、市内外の多くの皆様に御利用いただいているところです。</p> <p>様からご提案のあった島田球場の拡張につきましては、敷地の広さが十分でないため、仮に他の球場を参考として両翼100m、中堅122mへ拡張する場合、ライト側が河川区域に抵触するなどの課題が発生します。また、島田球場は築39年が経過しており、施設の老朽化が進んでいることから、緊急性及び安</p>	×	スポーツ振興課 36-7223

			<p>から野球の町。県内では一番早く他の地域に知らせていた所だと聞いています。(故 鈴木金苗)40~50年前は高校野球と言えば準決勝、準々決勝まで島田球場を使い、プロ野球のキャンプ地、国体等も利用され賑やかでした。今では夏の大会も3回戦で終わり、他の広い球場に持っていかれプロ野球2軍戦も来なくなったと聞きました。野球熱が高い島田は寂しいです。球場を県内で1、2番にしてほしい。島田がより話題性を生み、町全体が明るく賑やかになり人の出入りが多くなり人口減少にも少しは歯止めがかかるのではないのでしょうか?近隣の小学生、中学生、高校生の野球好きが集まり、この島田球場で切磋琢磨する。いいですね。今の島田球場は交通の便も良く、グラウンドもいいのに、試合も見やすいのに…。でも、使われていない。それこそもったいない!</p> <p>毎週土、日使われている球場をめざしたいと思います。島田は野球、藤枝はサッカー、力を入れて行きましょう。</p>	<p>全性の観点から優先すべき改修工事(内野スタンドの防水塗装、照明塔の改修、防球ネットの増設等)も数多くあります。</p> <p>したがって、島田球場を拡張する予定は今のところありません。</p> <p>様からご紹介のあった、地元第三セクターと地元金融機関などによる“野球のまち”として島田市を活気づける活動や、市内社会人野球チームが全国大会に向け大変健闘している状況は承知しております。このように、市民や地元企業等が中心となり、“野球のまち”として島田市を盛り上げることは、大変喜ばしいことだと思っております。</p> <p>今後とも野球を中心に島田を盛り上げる動きが広がっていき、“野球のまち島田”が地域の活性化につながることを期待しております。</p>		
3	手紙	保育料について	<p>今まで、第3子より保育料+おかず代が免除されていましたが、10月からの改定で、おかず代として、約5,000円/月負担しなくてはならなくなり、わが家では子供が4人いるので、2人分約1万円/月の負担となり家計を圧迫します。今まであったメリットがなくなり、とても残念です。その分、違うかたちでの補助はお考えですか?</p> <p>家を購入する際、近隣の焼津と悩みましたが、島田に購入した事を後悔してしまいます。</p>	<p>ご承知のとおり島田市では、平成29年9月より「保育料の第2子半額、第3子以降無償化」を実施しております。また、令和元年10月より、国が実施する3歳児以上の児童にかかる「幼児教育・保育の無償化」が開始される予定となっています。</p> <p>まず、国の「幼児教育・保育の無償化」については、3歳児以上の児童にかかる保育料等が無償化されるものですが、これまで保育所及び認定こども園(保育園部)(以下、「保育所等」と言います。)の保育料に含まれていた「副食費」(おかず代やおやつ代)が3歳児以上について保育料から除かれ実費徴収(保護者が支払い)となります。この考え方としては、保育所等では保育料に副食費が含まれていたのに対し、幼稚園及び認定こども園(幼稚園部)(以下、「幼稚園等」と言います。)では保育料に含まれず、実費徴収となっていたことから、幼児教育・保育の無償化を実施するにあたり、通っている施設によって負担の範囲が異なるのは不公平となるため、統一するというものです。その上で、「副食費を除いた保育料」について無償化するということが基本的な考え方となっております。</p> <p>次に、島田市で平成29年9月から実施している保</p>	x	<p>保育支援課 36-7195</p>

				<p>育料の第2子半額、第3子以降無償化ですが、やはり「保育料」について半額や無償としているため、現状では保育所等に通っている児童と、幼稚園等に通っている児童とで、無償化の対象が異なっている状況であり、課題でもありました。第3子以降について、保育所等の児童について副食費が保育料に含まれているため無償となっているのに対し、幼稚園等の児童については、保育料に含まれていないため、副食費は全額お支払いいただいているという状況です。</p> <p>今回、国の「幼児教育・保育の無償化」が実施され、施設による差別をしないという国の方針が出たことを受け、島田市としても様々なケースを検討しましたが、国の方針に沿った形で、公平性を重視し、これまでの不公平な状況を解消するべきと判断いたしました。また、病気や家庭の事情などの様々な理由により3歳児以上で保育所等にも幼稚園等にも通っていない児童もいます。このようなどこにも通えず自宅にいる児童のみが無償化の恩恵を受けることができなくなるということも考慮しなければなりません。</p> <p>これまで副食費も含めた保育料が0円だったところから、副食費相当分の実費の支払いが増える皆様には大変心苦しいところではありますが、何卒ご理解をいただければと存じます。</p> <p>島田市では、「子育てしやすいまち パパ・ママが住みたくなるまち 子育て応援都市 島田」を基本理念とし、未来を担う子ども達が健やかに成長できるよう、地域が一体となって子どもを真ん中に据えた環境づくりを目指しております。</p> <p>今後も、子ども達が健やかに育つために、何が一番大切かという視点を忘れずに、子育て支援に努めてまいります。</p>		
4	メール	児童クラブについて	<p>今年 小学校に入学した子供がいます。両親ともフルタイムで働いているため児童クラブを利用していますが、最近夏休みについての通知をもらいました。</p> <p>夏休み中の児童クラブは8時30分～18時の開所でクラブ室まで保護者の送迎が必要とお知らせでした。毎日7時15分くらいには家を出て出勤しているのでクラブの開所が8時30分ということに大変困惑しています。</p> <p>保育園は7時から預かってもらえて大変助かっ</p>	<p>現在、公設公営及び公設民営で運営している放課後児童クラブは、夏休みなどの長期休暇時や小学校代休日の開所時間を8時30分からとしており、児童の送迎も保護者様や御親族など大人の方のご対応をお願いしております。</p> <p>このことにつきましては、利用申込み時に配布する「児童クラブのご案内」でお伝えをしておりますが、様と同様に、早い時間から出勤されている保護者様からは、児童の送迎に苦慮しているとの御意</p>	x	子育て応援課 36-7159

			<p>ていました。保育園と児童クラブの落差があまりにも大きいです。小学校に入ってから子育てを応援してもらっている感じがしません。</p> <p>夏季休暇中のファミサポの利用も検討しましたが子供が嫌がり利用できません。</p> <p>利用料金が上がっても構わないので、長期休暇中の開所時間を早めるようにお願いしたいです。</p> <p>取り急ぎ今年の夏をどう乗り切るか、なにかいい案があれば教えてほしいです。</p>	<p>見をいただいております、生活実態に合った利用時間の要望があることも承知しております。</p> <p>しかしながら、近年、申込み児童の急増に伴う児童クラブの拡張、増設を進めていることから、指導員不足が続いており、開所時間の拡大に対応できない状況となっております。これらの問題を解決できた際には、早急に対応してまいりたいと考えております。</p> <p>また、「本年度の夏休みの対応」につきましては、御案内しております「島田市ファミリー・サポート・センター」のご利用のほか、現在、御利用いただいております「放課後児童クラブ」以外の「民間児童クラブ」も御提案させていただきます。</p> <p>民間児童クラブは、公設児童クラブと比較して利用料金は高くなっておりますが、一部の民間児童クラブでは、開所時間が7時30分から19時までと利用時間が長めに設定されております。夏季休暇時のみの利用も定員に余裕があれば可能であると伺っておりますので、対応のひとつとして御検討いただければ幸いです。</p> <p>様におかれましては、こうした点を何卒、御理解いただくとともに、市としても放課後児童クラブ利用者様のニーズにできる限りお応えできるよう、課題解決を図り、より円滑で安心、安全な運営ができるよう努めてまいりたいと考えておりますので、改善すべき点など、お気づきのことがございましたら、今後も御意見をいただきたいと思います。</p>		
5	メール	川根温泉ホテルについて	<p>指定管理者が変わってから始めて川根温泉ホテルを利用しました。</p> <p>その際源泉掛け流しのはずの内風呂で源泉出口から熱い温泉ではなく水が出てきていました。</p> <p>管理者が変わる前ではそんな事はありませんでした。</p> <p>時間によってはかけ流しではなく循環なものも承知していますが入った時間はかけ流しの時間でした。</p> <p>川根温泉の泉質はとろみのある温泉です。明らかにただの湯とは違います。分かる人には明らかに分かる違いです。</p> <p>指定管理者を市が指定し管理をさせているのであれば管理の方法までしっかりと指導するべきです。</p>	<p>7月より指定管理者が変更し大井川鐵道(株)による運営を開始しましたが、大浴場のオペレーションは前指定管理者と何ら変えることはなく、継続して実施しておりますし、機械設備の常駐スタッフも同一人により引き続き業務に当たっております。</p> <p>今回のご指摘を受け、24日に指定管理者に確認の指示をし、翌日25日には市担当者が内風呂に入浴して現場確認を行いました。継続実施しているオペレーションは、源泉温度が48 と高温のため、熱交換器にて熱を放出させ温度を下げ内風呂の吐水口から掛け流しております。熱交換器の特性から常時一定の温度での供給ができないため、約1分間隔で冷めた温泉と熱い温泉を供給しております。</p> <p>様が「水が出てきた」と思われたのは、ちょうど冷めた温泉が掛け流されている時に触られてお感</p>	×	観光課 36-7394

			<p>業者が変わったからコストを下げても落ちるといふのであれば価値が下がります。</p> <p>口コミで広がる前に早急に対策すべきです。清掃で温度を確認して水は出していないといふのであればなぜ冷たいのが出てくるのか根拠を示して説明して頂きたい。管理者の問題ではなくそこを指定した市にも指導監督の必要があると思います。</p>	<p>じになったものと推察いたします。</p> <p>しかしながら、川根温泉の泉質とは明らかに違う水が出てきたとのことです。機械設備の不良も考えられることから、施工業者に点検の指示をして25日に現場確認を行った結果、機械設備の不良箇所は見つかりませんでした。今後は、熱交換器の仕様を含めて継続的に経過観察して随時報告させることとしました。</p> <p>いずれにしましても、川根温泉は自噴の上、湯量が豊富で泉質も良いということで、県内屈指の源泉と認識しており島田市の貴重な財産です。今後は、皆様に快適に気持ち良く入浴して頂けるよう、指定管理者と協力して対応してまいります。</p>		
6	メール	リニア建設の件について	<p>染谷さんはリニア建設の件で中日新聞を拝見しました。(大井川譲れない)と見出しがありました。</p> <p>私の街には、ダム開発で大変な犠牲を強いられました。天竜川水系に、新豊根ダム、秋葉ダムと洪水対策として建設されました。その影には確かに自然や、生き物等が多かれ少なかれ犠牲になりました。でも、そのおかげで、下流域に水を供給することが出来周辺地域の発展に繋がりました。</p> <p>染谷さんの言うておられる大井川の水は上流にダムがあります。その水を返してもらえばどうですか？</p> <p>今、リニア建設に反対している周辺地域の首長は、私から見れば、ダダのワガママ言ってる子供の様に思えて仕方ありません。建て前上、水を譲れない、譲れないってたわごとを言ってるにしか聞こえません。</p> <p>染谷さんの意見を愛知県知事の大村さんと話してみても、いかがでしょうか？</p> <p>市長と、県知事別に同じテーブルで地域のトップ同士きつとイイ話になるはずですよ。</p> <p>正直言って、日本の発達向上にどこの地域も犠牲が、伴うのは仕方ない事。子供の様にいつまでもグズグズ言ってるのは見苦しいく聞こえるし、思えます。</p> <p>日本の発展の一翼を担う島田市になっては、いかがでしょうか？</p> <p>このままでは、ほんとに迷惑な流域になりそうな地域ですね。</p>	<p>最初にお伝えしたいのは、島田市はリニア中央新幹線の建設工事に反対しているわけではありません。リニア中央新幹線は日本の発展に大いに資する国を挙げてのインフラ整備であると認識しています。</p> <p>しかし、今日の島田市があるのは、大井川のおかげであることは間違いありません。大井川の恵みを受け、農林業・工業・観光業をはじめ、多くの産業が発展してきた島田市にとって、大井川の水はまさに「命の水」であります。その水を一滴たりとも無駄にはできないのです。</p> <p>大井川の水だけは譲れない、島田市の想いはただその一点であります。</p> <p>いたずらにリニア建設を遅らせることなど望んでいません。早期にJR東海から誠意ある回答をいただきたいと切に願っています。</p> <p>どうか、私も島田市の想いを少しでも御理解いただければと思います。</p>	x	戦略推進課 36-7120

7	メール	リニア新幹線敷設工事による地下水脈に関する件	<p>標記の件 南アルプスの海岸線上に位置して、地下水を利用している各種製造業を営む事業者は南アルプスの地下水脈の水道(みずみち)が寸断されることにより現状の節水量を阻害される恐れがあります。まず現在の節水能力(権利)を記録として公(証拠能力の確保をする意)に認められる形で継続調査を望みます。</p> <p>節水量の変化が顕在化するまでに10年からそれ以上の時間を要することが考えられ、事実が発生してからでは証明が困難に成ります。詳しくは削泉(井戸掘り)業者にご確認下さい。又沿線上で自然湧水により観光・生活に活用している場合も同様と考えます。数千年と言う長い年月で培われた水脈(水道)は傷を付けたら復旧は困難です。</p> <p>関係事業者に事前の準備の警鐘を鳴らし、同時にJR 東海にたいしてその旨の通告が急務であり、その役割を担うことが出来るのは行政当局かと思っております。関係市町との協同が適えば幸甚に存じます。</p>	<p>島田市には、大井川の地下水を利用する企業等が多数存在します。つまり、当市の産業の発展は、大井川の水・地下水に支えられていると言えます。</p> <p>そのようなことから、 様御指摘のとおり、私モリニア中央新幹線のトンネル工事の影響による地下水位の低下を懸念しています。</p> <p>現在、静岡県が中心となり、島田市を含む大井川周辺市町、更に農業や工業などで大井川の水を利用している利水者が、まさに「オール静岡」態勢で、トンネル内の湧水を全て確実に大井川に戻して欲しいとJR東海に訴えているところであります。</p> <p>JR東海に対しては、今年6月6日に、静岡県中央新幹線対策本部から「中間意見書」を提出しています。この中間意見書では、湧水の全量戻しやその水質維持のほか、地下水位低下の懸念に関する意見も記載されています。</p> <p>具体的には、中下流域で井戸枯れ等が起きた場合のリニア工事との因果関係について、井戸所有者でなくJR東海が調査し、中立的な第三者の評価を受ける必要があること、また、補償等への対応方針についても示していただきたいという意見となっております。</p> <p>現在の取水能力(権利)を記録として残しておくべきとの御意見についてですが、島田市・藤枝市・焼津市・牧之原市・吉田町の大井川の地下水利用者で構成する「大井川地域地下水利用対策協議会」において、協議会地域内にある15か所の観測井において、毎月1回、水位を観測しています。</p> <p>協議会構成員の皆様については、リニア水問題はまさに自分事であるとの認識の高まりを感じているところであります。今後も行政として正しい情報提供などにより、想いを共有してまいります。</p>	戦略推進課 36-7120
8	メール	ローズアリーナ軽運動について	<p>私は退職後健康維持や時間の有効利用のためローズアリーナの会員になりました。私が特に利用しているのは軽運動です。軽運動は、火～土曜日の10時から10時45分、火曜日と木曜日の13時15分から14時まで行われる日替わりメニューの運動です。ストレッチ、ミニランポ、体幹トレーニング、筋トレ等を行ってくださり、とても健康維持に役立っています。その軽運動の稼働日数が毎年どんどん減ってきています。理由はわかりません。会員には</p>	<p>日頃、ローズアリーナを御利用いただき、ありがとうございます。</p> <p>現在、ローズアリーナで実施されている各種教室につきましては、施設を管理している指定管理者が、一般利用の妨げにならない範囲で行っています。</p> <p>様が受講されている軽運動教室もその一つです。</p> <p>教室の開催に当たっては、指定管理者が利用者のニーズや講師の状況などを勘案し、教室を選定して</p>	x スポーツ振興課 36-7223

			<p>何一つ知らされないまま減ってきています。私の仲間も減っていることを残念に思っています。意見として出しても何ら改善が見られません。市の方で稼働日数を決めているようなことを伺いましたが本当でしょうか。だとしたら、とても残念に思います。健康づくりをうたっていませんか。健康づくり課では、肥満・生活習慣病の改善のためにいろいろ試そうとしています。健康づくりに力を入れている島田市の目標や方向に合っているとと言えるのでしょうか。疑問に感じずにはいられません。</p> <p>会費を払っている身としては、会員が納得できる理由がない限り稼働してほしいと思います。ジム利用者がメインで軽運動はおまけだからと聞いたこともあります。軽運動をやってほしいというニーズがあります。だったら、ジム利用者と軽運動利用者とを切り離れた料金体制をとるなどして、会員のニーズに合った対応を取っていただくと嬉しいです。(軽運動参加者はそれのみに参加している方が多いので)</p> <p>8月の軽運動の日程表が出た際、あまりに休みが多かったので、スタッフに尋ねたところ、休みになった理由を知りませんでした。スタッフ全員が共通理解していないのはおかしいのではないかと感じました。休みの理由を表示してほしいと伝えてもしていただけません。</p> <p>私個人としてはアリーナが稼働日なら軽運動も行うべきではないかと思っています。但し、イベント等で部屋が使えない場合を除いてです。</p> <p>プールの稼働日数と、軽運動の稼働日数は同じにしないでよいのではないのでしょうか。そうすれば、プールのない日に軽運動に参加できると思います。</p>	<p>おりますが、施設の部屋数に限りがあることや受講者数の減少などにより、やむを得ず教室の開催回数の減少や、取りやめとなる場合がございます。様が受講されている軽運動教室につきまして、指定管理者に確認したところ、受講者数の減少に伴う教室の集約のため、平成28年4月に土曜日午後の教室が閉講し、さらに平成30年5月に水曜日及び金曜日の夜間の教室が閉講となっております。また、毎年8月につきましては、お盆休みの帰省やお出かけをする利用者が多く、教室の受講者も減少するため、多くの教室が休講または開催回数が少なくなっている状況です。何卒、こうした現状を御理解いただければと思います。</p> <p>今後については、様のように、軽運動教室など特定の教室のみを楽しみにして、会員となっている方もおられると思いますので、教室の有り方や開催回数などについて、十分検討してまいります。また、利用者の皆様に御意見をお聞きし、やむを得ず教室を閉講するなどの場合には、利用者様への事前のお知らせや説明に努めるよう指定管理者を指導するとともに、スタッフ全員が施設の情報を共通理解するよう併せて指導してまいります。</p> <p>なお、指定管理者が開催している教室には、軽運動教室の内容が含まれているスタジオ教室(有料)もございます。もし、御関心がございましたら、ローズアリーナ1階窓口の職員にお問い合わせいただければと思います。</p> <p>今後とも、利用者の皆様に満足していただけるよう、施設の運営をしてまいりますので、引き続きローズアリーナを御利用くださいますよう、お願い申し上げます。</p>		
9	メール	リニア工事について	<p>昨日の中日新聞の記事で市長のインタビュー記事を拝見致しました。</p> <p>全くその通りです。特に静岡市長は大井川の水より井川地区のインフラ整備のほうが大事なのであってにはなりません、そういう印象を受けます。県知事も環境問題をダシにして開発費をJRに出させたいのか?と思うようになりました。簡単に妥協しないよう頑張ってください。周辺の藤枝や焼津、牧之原や吉田と連携して安易に妥協しないように、県知</p>	<p>まずは、島田市の考え方や立場について御理解・御賛同いただいたことに、御礼申し上げます。</p> <p>今日の島田市の発展は、大井川を礎としています。その恵みは、農林業・工業・観光業の成長に加え、ここにしかない歴史・文化の創造に大きく寄与してきました。当市にとって大井川の水は、まさに「命の水」であります。</p> <p>大井川の水だけは譲れない、島田市の想いはただその一点であります。新聞報道にもあるように、当市</p>		戦略推進課 36-7120

			<p>事に整備と引き換えに環境を売り渡す事の無いように、宜しく願います。</p>	<p>は地域貢献を一度も求めたことはありません。</p> <p>現在、静岡県が中心となり、大井川流域8市2町（島田市、焼津市、掛川市、藤枝市、袋井市、御前崎市、菊川市、牧之原市、吉田町、川根本町）更に農業や工業などで大井川の水を利用している利水者が、まさに「オール静岡」態勢で、トンネル内の湧水を全て確実に大井川に戻して欲しいとJR東海に訴えているところであります。</p> <p>最近の知事の発言について、その真意は定かではありませんが、地域貢献を求めるものではなく、私たちの「命の水」を守るためのものであると信じています。</p> <p>今後も関係者の皆様と連携を図りながら、JR東海との交渉を続けていきますので、御理解・御賛同をよろしく願います。今回いただいた声を私たちの力としていきます。</p>		
--	--	--	--	--	--	--